

気象特別警報報知の解説（XML フォーマット）

気象特別警報報知 XML の構造は気象庁防災情報 XML フォーマットに従います。本解説は現在の気象特別警報報知発表の運用に則してさらに詳細に記述していますので、今後の運用の変更に伴って本解説の内容が変わる可能性があります。

本資料中で用いる用語について

- ・本資料中で参照しているコードに関する表番号は、気象庁防災情報 XML フォーマット辞書・コード管理表中の番号である。
- ・「府県予報区等」は、次の場合を除き、府県予報区を指す。
 - ・北海道（宗谷地方、及び網走・北見・紋別地方を除く）については、一次細分区域を用いる。
 - ・鹿児島県については、「鹿児島県（奄美地方除く）」又は「奄美地方」を用いる。
- ・「一次細分区域等」は、原則として一次細分区域を指す。
- ・「市町村等をまとめた地域等」は、原則として市町村等をまとめた地域を指す。ただし、市町村等をまとめた地域の設定がない場合には、一次細分区域を指す。

1. Control 部

```
<Control>
  <Title>気象特別警報報知</Title>
  <DateTime>2010-07-14T20:46:01Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>富山地方気象台</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>富山地方気象台</PublishingOffice>
</Control>
```

1 - 1 Title

電文の種別を示すための情報名称。

【解説】 “気象特別警報報知” で固定。

1 - 2 DateTime

発信時刻。

【解説】 年月日時分秒を UTC 表記の DateTime 型で記載する。

1 - 3 Status

運用種別。

【解説】 “通常” “訓練” “試験” のいずれかを記載。

1 - 4 EditorialOffice

編集官署名。

【解説】 実際に発表作業を行った官署名を示す。

1 - 5 PublishingOffice

発表官署名。

【解説】 業務的に発表した官署名を示す。かな漢字形式の電文における「〇〇地方気象台発表」の官署名に相当する。

2. Head 部

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>富山県気象特別警報報知</Title>
  <ReportDateTime>2010-07-15T05:46:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2010-07-15T05:46:00+09:00</TargetDateTime>
  <EventID />
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>気象特別警報報知</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.1_1</InfoKindVersion>
  <Headline>
    (略)
```

2 - 1 Title

情報の標題

【解説】 電文が対象とする地域の名称に続いて、“気象特別警報報知”を記載する。

2 - 2 ReportDateTime

発表時刻

【解説】 発表時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する。時刻は分単位で、秒は常に“00”。

2 - 3 TargetDateTime

基点時刻

【解説】 発表時刻に同じ。

2 - 4 EventID

識別情報

【解説】 常に空タグとなる。

2 - 5 InfoType

情報形態

【解説】 “発表”、“訂正”のいずれかを記載。

2 - 6 Serial

情報番号

【解説】 常に空タグとなる。

2 - 7 InfoKind 及び InfoKindVersion

スキーマの運用種別情報 (InfoKind)、及びスキーマの運用種別情報のバージョン番号 (InfoKindVersion)

- 【解説】 1 InfoKind は、“気象特別警報報知”で固定。
2 InfoKindVersion には、バージョン番号を文字列で記載する。

2 - 8 Headline 部

【特別警報が発表されているときの例】

```
<Headline>
  <Text>【特別警報 (大雨)】富山県に特別警報を発表しました。警報本文をご確認ください。</Text>
  <Information type="気象特別警報報知 (府県予報区等)">
    (略)
```

【特別警報がすべて解除された時点の例】

```
<Headline>
  <Text>【警報に切り替え】富山県の特別警報を警報に切り替えました。</Text>
  <Information type="気象特別警報報知 (府県予報区等)">
    (略)
```

2 - 8 - 1 Text

見出し文

【解説】 1 当該府県予報区内に特別警報が発表されているときは、“【特別警報 (〇〇、〇〇…)]”の書式で、“〇

○”に発表中の特別警報名を列記し、引き続き、府県予報区名及び“に特別警報を発表しました。警報本文をご確認ください。”を定型で記載する。

- 2 当該府県予報区内から特別警報を発表する市町村等がなくなったときは、“【警報に切り替え】”、“【注意報に切り替え】”、“【特別警報解除】”のいずれかを記載し、引き続き、府県予報区名及び“の特別警報を警報に切り替えました。”、“の特別警報を注意報に切り替えました。”、“の特別警報を解除しました。”のいずれかを記載する。

2 - 8 - 2 Information 部

- [解説]
- 1 属性 type により分類され、繰り返し出現する。属性 type が同一のものが複数回出現することはない。
 - 2 属性 type の取りうる値は以下の通り。

“気象特別警報報知（府県予報区等）”
“気象特別警報報知（一次細分区域等）”
“気象特別警報報知（市町村等をまとめた地域等）”
“気象特別警報報知（市町村等）”
“気象特別警報報知（警報注意報種別毎）”

2 - 8 - 2 - 1 Information[@type=“気象特別警報報知（府県予報区等）”]部

[解説] 府県予報区等の単位で、区域内の市町村等に発表中の特別警報をまとめた内容を記載する。

[区域内の市町村等に発表中の特別警報がある場合の例]

```
<Information type=“気象特別警報報知（府県予報区等）”>
  <Item>
    <Kind>
      <Name>大雨特別警報</Name>
      <Code>33</Code>
    </Kind>
    <Kind>
      <Name>暴風特別警報</Name>
      <Code>35</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType=“気象情報／府県予報区・細分区域等”>
      <Area>
        <Name>富山県</Name>
        <Code>160000</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
```

[区域内の市町村等に発表中であった特別警報がすべて解除された時点の例]

```
<Information type=“気象特別警報報知（府県予報区等）”>
  <Item>
    <Kind>
      <Name>解除</Name>
      <Code>00</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType=“気象情報／府県予報区・細分区域等”>
      <Area>
        <Name>富山県</Name>
        <Code>160000</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
```

2 - 8 - 2 - 1 - 1 Item 部

特別警報種別（Kind 部）及び府県予報区等（Areas 部）を記載する。

[解説] 当該府県予報区内に特別警報を発表中の市町村等があるとき、または当該府県予報区内の市町村等に対する特別警報が解除されたときに、府県予報区等の数だけ出現する。

2 - 8 - 2 - 1 - 1 - 1 Kind 部

府県予報区等内の市町村等で発表中の特別警報の種別名（Name）、コード（Code）を記載する。

- [解説] 1 Kind 部は府県予報区等内に含まれる市町村等で発表中である特別警報の種類数だけ出現する。
2 特別警報の種別名及び対応するコードは、code.WeatherWarning (表 1.5.3.1)。
3 当該府県予報区等内の市町村等に発表中であつた特別警報がすべて解除された場合は、Kind 部は 1 回出現し、特別警報・警報・注意報の種別名 (Name) に“解除”、コード (Code) に“00”が記載される。
4 特別警報以外に発表中の警報・注意報がある場合でもそれらの内容は記載しない。

2 - 8 - 2 - 1 - 1 - 2 Areas 部

Kind 部で内容を述べた府県予報区等の名称 (Area/Name)、コード (Area/Code) を記載する。

- [解説] 1 Item 以下に Areas 部は 1 回だけ出現する。Areas 以下に Area 部は 1 回だけ出現する。
2 Areas の属性 codeType に記載されるコード種別名は“気象情報／府県予報区・細分区域等”固定。
3 府県予報区等の名称と対応するコードは code.AreaForecastLocalM (表 1.5.3.2、詳細は別途提示)。

2 - 8 - 2 - 2 Information[@type=“気象特別警報報知 (一次細分区域等)”]部

[解説] 一次細分区域等の単位で、区域内の市町村等に発表中の特別警報をまとめた内容を記載する。

2 - 8 - 2 - 2 - 1 Item 部

特別警報種別 (Kind 部) 及び対象の一次細分区域等 (Areas 部) を記載する。

- [解説] 1 特別警報を発表中の市町村等を含む一次細分区域等の数だけ出現する。
2 特別警報が発表されていない一次細分区域等については、Item 部ごと記載しない。

2 - 8 - 2 - 2 - 1 - 1 Kind 部

一次細分区域等内の市町村等で発表中の特別警報の種別名 (Name)、コード (Code) を記載する。

- [解説] 1 Kind 部は一次細分区域等内に含まれる市町村等で発表中である特別警報の種類数だけ出現する。
2 特別警報の種別名及び対応するコードは、code.WeatherWarning (表 1.5.3.1)。
3 特別警報以外に発表中の警報・注意報がある場合でもそれらの内容は記載しない。

2 - 8 - 2 - 2 - 1 - 2 Areas 部

2 - 8 - 2 - 1 - 1 - 2 の内容の“府県予報区等”を“一次細分区域等”に読み替えたものと同じ。

2 - 8 - 2 - 3 Information[@type=“気象特別警報報知 (市町村等をまとめた地域等)”]部

2 - 8 - 2 - 2 の内容の“一次細分区域等”を“市町村等をまとめた地域等”に読み替えたものと同じ。

2 - 8 - 2 - 4 Information[@type=“気象特別警報報知 (市町村等)”]部

[解説] 市町村等に発表中の特別警報を記載する。

2 - 8 - 2 - 4 - 1 Item 部

特別警報種別 (Kind 部) 及び対象の市町村等 (Areas 部) を記載する。

- [解説] 1 Item 部は発表中の特別警報がある市町村等の数だけ出現する。
2 特別警報が発表されていない市町村等については、Item 部ごと記載しない。

2 - 8 - 2 - 4 - 1 - 1 Kind 部

発表中の特別警報の種別名 (Name)、コード (Code) を記載する。

- [解説] 1 Kind 部は当該市町村等で発表中の特別警報の数だけ出現する。
2 特別警報の種別名及び対応するコードは、code.WeatherWarning (表 1.5.3.1)。
3 特別警報以外に発表中の警報・注意報があつても、それらの内容は記載しない。

2 - 8 - 2 - 4 - 1 - 2 Areas 部

Kind 部で内容を述べた市町村等の名称 (Area/Name)、コード (Area/Code) を示す。

- [解説] 1 Item 以下に Areas 部は 1 回だけ出現する。Areas 以下に Area 部は 1 回だけ出現する。
2 Areas の属性 codeType に記載されるコード種別名は“気象・地震・火山情報／市町村等”固定。
3 市町村等の名称と対応するコードは、code.AreaInformationCity (表 1.5.3.2、詳細は別途提示)。

2 - 8 - 2 - 5 Information[@type=“気象特別警報報知 (警報注意報種別毎)”]部

特別警報種別毎に、当該特別警報が発表されている市町村等を、地域名（府県予報区等、一次細分区域等、市町村等をまとめた地域等）でまとめて記載する。

```
<Information type="気象特別警報報知（警報注意報種別毎）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>大雨特別警報</Name>
      <Code>33</Code>
    </Kind>
    <Areas codeType="気象情報／府県予報区・細分区域等">
      <Area>
        <Name>東部北</Name>
        <Code>160012</Code>
      </Area>
      <Area>
        <Name>西部北</Name>
        <Code>160021</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
```

[解説] 電文が対象とする地域内の市町村等に発表中の特別警報がない場合には、Information[@type="気象特別警報報知（警報注意報種別毎）"]部は省略する。

2 - 8 - 2 - 5 - 1 Item 部

特別警報種別 (Kind 部) 及び地域 (Areas 部) を記載する。

[解説] Item 部は Information[@type="気象特別警報報知（市町村等をまとめた地域等）"]部に出現する特別警報種別の種類数（ただし、解除を除く）だけ出現する。

2 - 8 - 2 - 5 - 1 - 1 Kind 部

発表中の特別警報の種別名 (Name)、コード (Code) を記載する。

- [解説] 1 Kind 部は Item 以下に 1 回だけ出現する。
2 特別警報の種別名及び対応するコードは、code.WeatherWarning（表 1.5.3.1）。
3 特別警報以外に発表中の警報・注意報がある場合でもそれらの内容は記述されない。

2 - 8 - 2 - 5 - 1 - 2 Areas 部

Kind 部の内容に対応する地域の名称 (Area/Name)、コード (Area/Code) を示す。

- [解説] 1 Item 以下に、Areas 部は 1 回だけ出現する。
2 Areas 以下に、Area 部は 1～複数回出現する。Area 部に記載する地域名の用い方は次の通り。
① Information[@type="気象特別警報報知（市町村等をまとめた地域等）"]において、府県予報区等内のすべての市町村等をまとめた地域等に、当該特別警報が記載されている場合は、府県予報区等名を用いる。
② ①以外の場合で、Information[@type="気象特別警報報知（市町村等をまとめた地域等）"]において、一次細分区域等内のすべての市町村等をまとめた地域等に、当該特別警報が記載されている場合には、一次細分区域等名を用いる。
③ ①、②以外の場合は、Information[@type="気象特別警報報知（市町村等をまとめた地域等）"]において、当該特別警報が記載されている市町村等をまとめた地域等名を記載する。
3 Areas の属性 codeType に記載されるコード種別名は、“気象情報／府県予報区・細分区域等”で固定。
4 府県予報区等、一次細分区域等、市町村等をまとめた地域等の名称と対応するコードは、code.AreaForecastLocalM（表 1.5.3.2、詳細は別途提示）。

3. Body 部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/">  
</Body>
```

名前空間に、属性 xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/" を記載するのみで、常に空タグとなる。